

記者発表資料
平成 24 年 5 月 8 日
林業振興課(地域林業振興班)
担当者 高橋, 眞田
内線 2914

たらのめ(野生)の放射性物質検査結果について

1 検査の経緯

モニタリング調査の一環として、5月1日にたらのめ(野生)の簡易検査したところ、国の基準値(100ベクレル/kg)を超える放射性セシウムが検出されたため、5月7日に精密検査を実施した。

その結果、大崎市のたらのめ(野生)が国の基準値を超過したため、生産者及び大崎市等関係者に対して出荷自粛を要請した。

2 検査方法

ゲルマニウム半導体検出器による検査

3 測定年月日

平成 24 年 5 月 7 日

4 検査機関

宮城県

5 検査結果

(単位:ベクレル/kg)

市 町	採取年月日	測定値 (放射性セシウム合計値)	基準値 (放射性セシウム合計値)
大崎市	H24年5月1日	260	100

6 対応状況

- たらのめ(野生)の出荷を行わないよう大崎市へ要請した。
- 当該品は、出荷前に検査をしており流通していないため、回収等は生じていない。
- 当該地区におけるたらのめの発生時期は4月下旬～5月中旬までであるが、大崎市及びその周辺市町におけるたらのめの検査体制を強化していく。

7 県内におけるたらのめの検査結果について

【平成 24 年度】 下表のとおり

市町村	検体数	測定結果(放射性セシウム)	公表日・測定値(ベクレル/kg)
大崎市	1	タラノメ(野生)	(24.5.8)260
栗原市	1	タラノメ(野生)	(24.5.3)91
登米市	1	タラノメ(野生)	(24.5.3)87
気仙沼市	4	タラノメ(野生)①(24.5.8)88 タラノメ(野生)②(24.5.8)72 タラノメ(野生)③(24.5.8)55 タラノメ(野生)④(24.5.8)86	
計	7		

* 4市町で7検体を精密検査した内、1市町(1検体)で基準値を超えている。

* たらのめは、収穫した状況により「野生」・「露地」・「施設」に分類される。

【参考:たらのめ 平成23年度の生産状況】

	生産量	(内 訳)	販売形態
県全体	8,432kg	調査中	直売所
大崎市	2,108kg(25%)	野生 25%, 露地 35%, 施設 40%	直売所